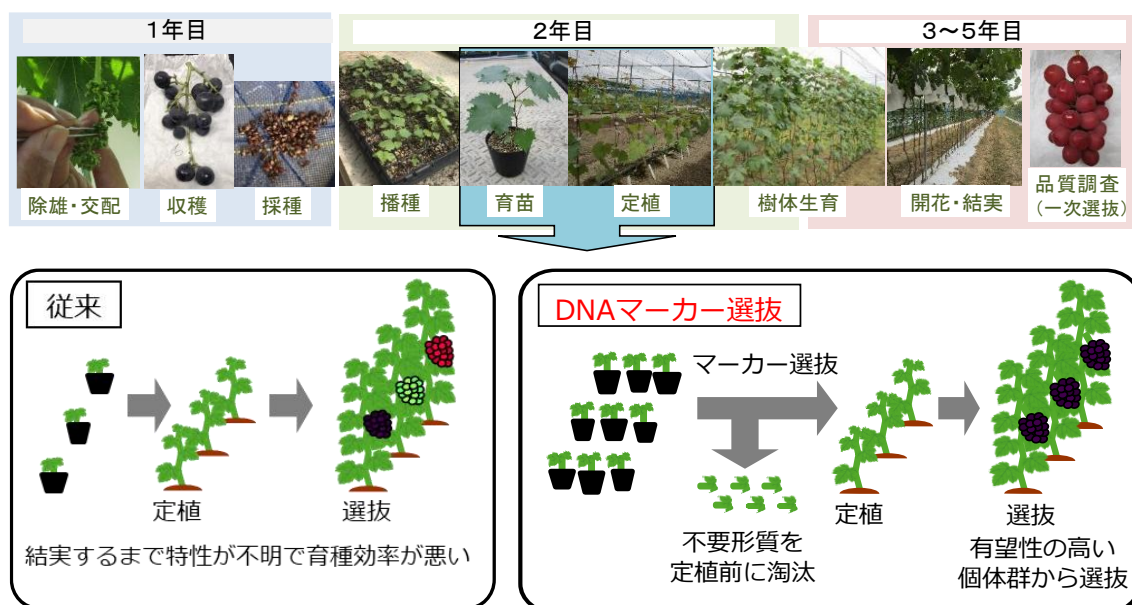


課題名：DNAマーカーを活用したブドウ・モモ新品種育成技術の開発（令7～9）

内容：ブドウの育種では高温下でも着色が安定する大粒系品種、モモの育種では白肉で花粉を有する早生から極晩生までの様々な熟期の品種が望まれています。生物科学研究所と共同で開発したDNAマーカー選抜技術を育種の過程に取り入れると、実験室の小規模なスペースで大量の個体群から有望性の低い個体を予め淘汰し、有望性の高い個体のみを圃場に定植することが可能となり、優良個体を効率的に選抜できます。そこで、育種の過程にDNAマーカー選抜技術を取り入れ、多数の個体を同時処理するブドウ、モモの新品種を育成する技術を開発します。



[果樹研究室HPへ](#)
[農業研究所HPへ](#)